



2月のおすすめ ツクシガモ

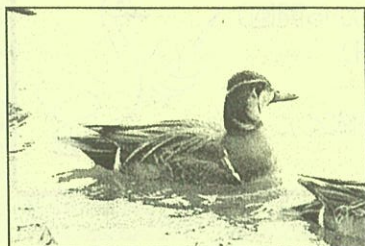
九州の筑紫地方のカモという意味の名前のとおり、主に九州に飛来するカモで、山陰地方にも毎年少数が飛来します。カモの間では珍しく、オスもメスも色鮮やかな姿をしていて、オスの方が一回り大きな体で、色もより鮮やかです。ネイチャーセンターの目の前にもよくやってきて、コハクチョウと一緒にいる風景は山陰地方ならではの鳥風景です。

2021年12月1日～2022年1月10日に見られた鳥

キジ、ヒシクイ、マガン、オオハクチョウ、コハクチョウ（コブハクチョウ）、ツクシガモ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒトリガモ、マガモ、マガモ×カルガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、亜種アメリカカモ、杓ハヅロ、キンクロハヅロ、スズガモ、ホオシロガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハシロカイツブリ、キジバト、カウ、ゴイサギ、アサギ、ダイサギ、コサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、バン、オオバン、タケリ、セイタカシギ、タシギ、クサシギ、イソシギ、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、カモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、ハイロチュウヒ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、コミズク、カササギ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボロガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ショウビタキ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セウロセキレイ、カラビロ、ベニマシコ、ホオジロ、ホオアカ、シベリアジュリン、オジヨリ、（トバト）

合計：76種類・亜種 1 種類、交雑個体 1

※下線太字は注目の鳥、（ ）は外来種。



←今季は観察距離が
近いトモエガモ
2021/12/1 撮影

今月のNEWS

2月2日は世界湿地の日です

ラムサール条約は、1971年2月2日にイランのラムサールという都市で締結されました。その日を記念して、毎年2月2日を「世界湿地の日 World Wetlands Day (WWD)」とするよう、1996年に定められました。

WWDには、湿地の恩恵や価値に目を向け、その維持と賢明な利用を達成するというラムサール条約の目的を達成するために、ラムサール条約について一般に啓発する取り組みが世界中で行われています。

米子水鳥公園では、毎年2月に開催するイベントをWWD記念企画と位置づけ、ラムサール条約事務局のホームページに活動報告（英語）を投稿しています。今年も投稿しますので、ぜひご覧ください。

<https://www.worldwetlandsday.org/en/events>

World
Wetlands Day
2 February 2022



Wetlands Action for People and Nature

世界湿地の日 2022 のロゴ

2月のイベント情報

水鳥公園のイベントの参加には入館料が必要です。表示があるものを除き、会場・集合場所は水鳥公園ネイチャーセンターです。
下記の催しは、とっとり県民カレッジ連携講座です。

2月2日(水)～2月28日(月)開館時間中いつでも 世界湿地の日記念「米子水鳥公園・昆虫総選挙 2022」

内 容：世界湿地の日を記念して、これまでに米子水鳥公園で確認された昆虫 20 種類の中で、来館者に人気投票をしていただきます。開票の結果、上位 12 位に選ばれた昆虫の写真でカレンダーを制作し、10 月に販売予定です。

対 象：ネイチャーセンター入館者

参加費：無料

その他：投票は一日に 1 回で、期間中に何度でも投票できます。
投票者には、昆虫はがきを 1 枚プレゼントします。



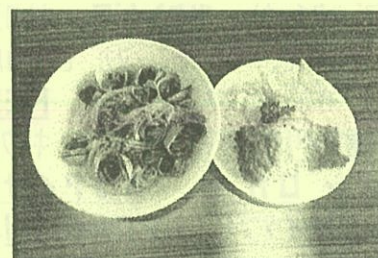
2月20日(日)10:00～14:00 ※2月4日(金)9:00 から受付開始 手作り自然教室～世界湿地の日記念～「中海の恵みを味わおう会！」

内 容：世界湿地の日を記念して、中海にゆかりのある水産物を自分の手でおいしく調理して味わい、中海の恵みを体感します。

対 象：小学生以上の保護者同伴の 4 組・要予約

参加費：500 円

持ち物：エプロン、魚用の包丁（少数は貸し出し可）、マイカップ、マイ箸



3日6日(日)まで 開館時間中いつでも 第 27 回「米子水鳥公園絵画コンクール」作品展

内 容：小学生が描いた、身近な鳥・大好きな鳥・自然の中の鳥などの絵画の全応募作品を展示します。期間中に来館者による入館者投票審査もあります。

投票審査期間：2月4日(金)まで



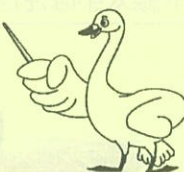
お申し込み・お問い合わせ先：米子水鳥公園ネイチャーセンター

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL:0859-24-6139 FAX:0859-24-6140
<http://www.yonago-mizutori.com>

●開園時間：9：00～17：30(11月～3月の土・日・祝日は、7：00 から開園)

●入 館 料：高校生以上 70 歳未満：310 円（年間パスポート 1,500 円）
中学生以下および 70 歳以上：無料

●休 園 日：毎週火曜日（祝日を除く）および祝日の翌日（土曜、日曜を除く）、
12/29～12/31



WWD 企画&2月の手作り自然教室 「中海の恵みを味わおう会!」



昨年度の料理:サルボウガイのボンゴレ風パスタと
スズキのフライタルタルソース添え



調理の様子

かつては多種多様な生き物が生息し、その景色がとても美しく「錦の海」と称えられた程であったとされる中海。中海は、長きにわたり多くの恵みを私達人間に与えてくれました。ところが、ここ数十年の間、私達人間はその環境を大きく変え、かつての豊かな中海を過去の姿とは変わってしまいました。

このイベントは、ラムサール条約が初めて結ばれた1971年2月を記念し、世界各地のラムサール条約登録湿地で行われる世界湿地の日(WWD)イベントの1つとして開催します。中海で獲れる、もしくはゆかりのある魚介類を自分達の手で調理し、中海の恵みを味わいながら再び「錦の海」に戻せるよう、中海の環境について考えてみませんか!

日時 2022年2月20日(日) 10:00~14:00
場所 米子水鳥公園ネイチャーセンター会議室

定員 親子先着4組、予約が必要です。必ず保護者同伴をお願い致します。

※2月4日(金)より予約受付を開始します。

材料費 500円(入館料込み、大人子供一律の料金です。)

持ち物 エプロン・マイ箸・マイカップ・魚用の包丁(お持ちの場合)

お問い合わせ先 米子水鳥公園 TEL (0859) 24-6139 担当…米田